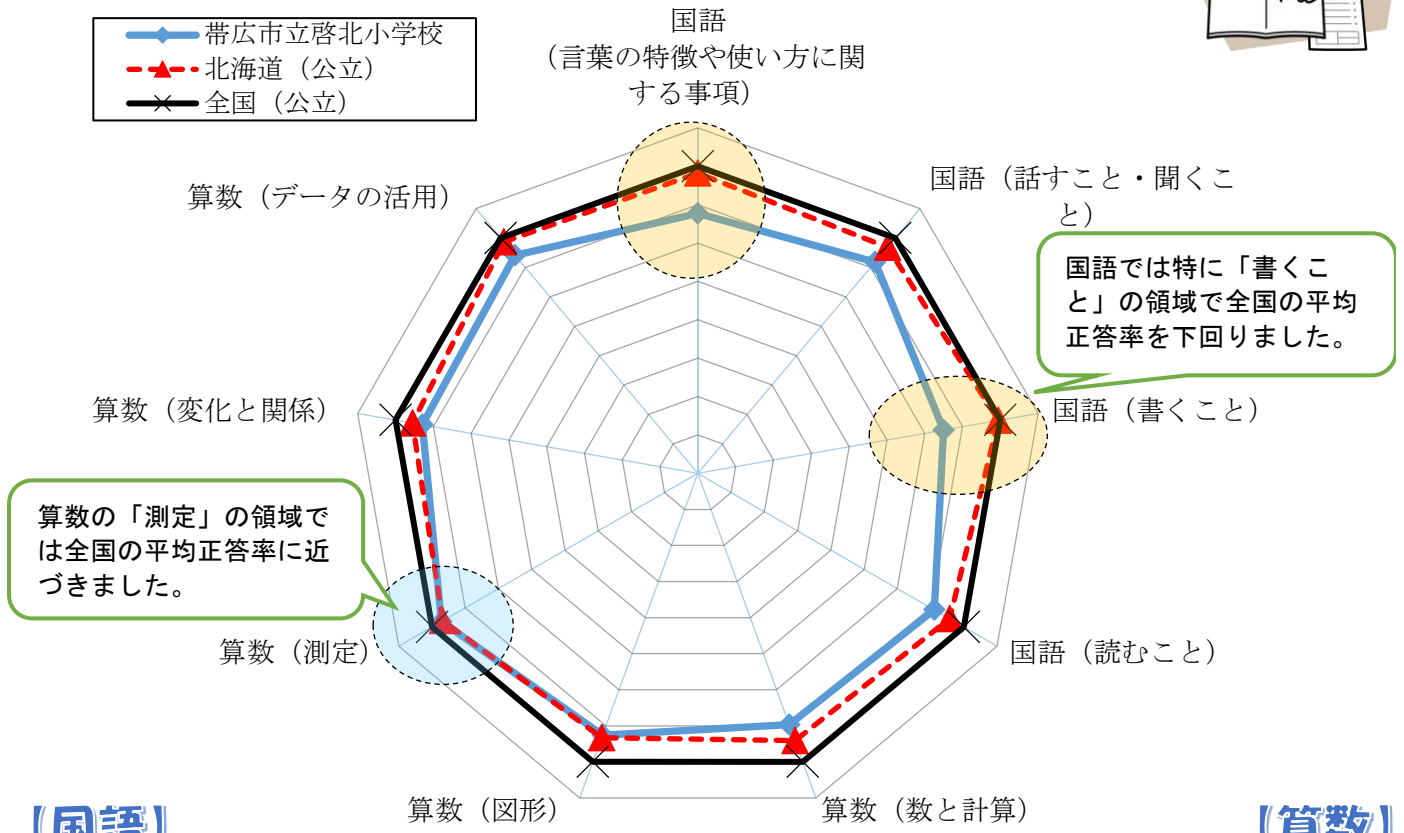
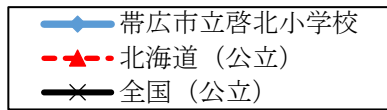


# 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて 調査結果から見た本校児童の様子



## 学力について

※グラフは、全国値を100として示しています。

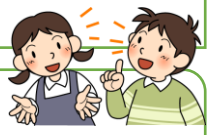


国語では特に「書くこと」の領域で全国の平均正答率を下回りました。

算数の「測定」の領域では全国の平均正答率に近づきました。

### 【国語】

- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかをみる選択回答式の問題では、全国の平均正答率を上回った。
- 「書くこと」の領域が得点できていなかった。特に「【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する」設問では、全国の平均正答率を大きく下回った。
- 漢字を文の中で正しく使えるかを見る設問で全体的に全国に比べて正答率が低かった。(げんいん, つみ重ね, ころがっている)



### 今後の取組

・記述式の問題では、惜しいところまでは答えられていますが、結論まで書いていなかったり、説明が少しだけ足りなかったりすることで得点に結びつかなかった人が多く見られました。普段から主張したいことや、それを支える理由や事例は何かを明確にすることが大切です。

### 【算数】

- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができるかをみる問題で、全国の平均正答率を上回った。
- 速さを求める除法の式と商の意味を理解しているかをみる問題では、全国の平均正答率を大きく下回った。
- 「30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを記述する」問題では、無解答率も多かった。

### 今後の取組

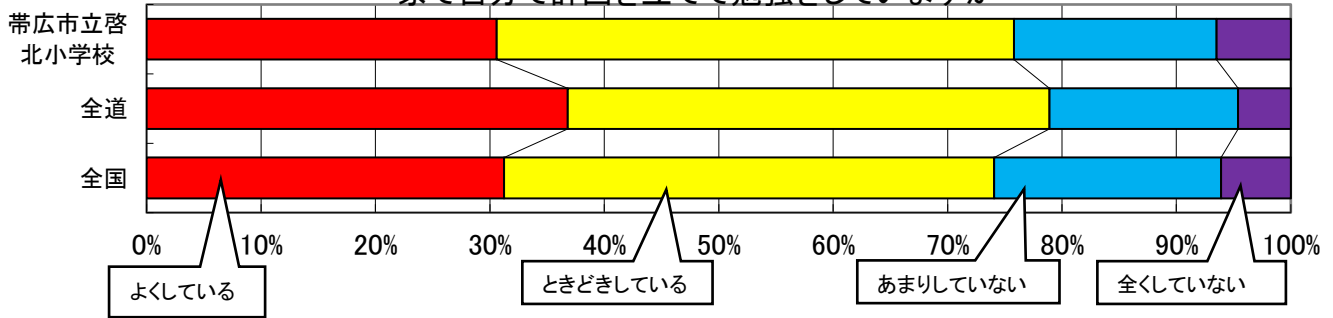
- ・数の求め方の仕組みや数を構成する単位に着目し、整数でも小数でも、基準量を1としたときに比較量がいくつに当たるかという意味でとらえることができるようにすることが大切です。2年生で倍の学習が出てきますが、図などを用いて基にする大きさを意識できるようにすることが大切です。
- ・指導工夫改善担当や算数科講師を活用する時間を効果的に配置し、少人数指導や習熟度別指導を進め、今後も「できる」「わかる」喜びが感じられる授業づくりに取り組んでいきたいと考えます。

## 学習状況について(児童質問紙より)

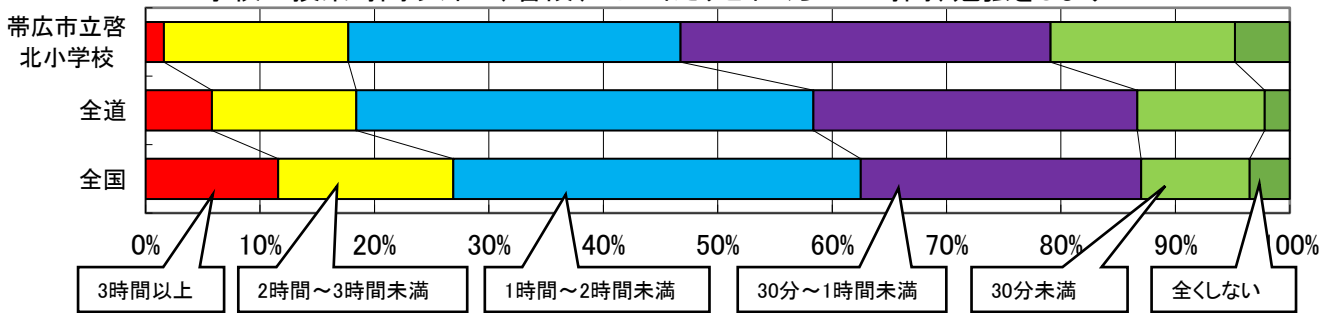


- 学習意欲は高いです。例えば、「授業では、課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいたか」という質問では、全国平均より多くの児童が「取り組んだ」と答えています。
- 「自分で計画を立てて勉強をしているか」という質問では、全国と大きく変わらず、「している」と答えた児童が多かったです。
- 学校の授業以外の普段の学習時間や読書時間が短い傾向にありました。家庭学習を全くしていない児童や30分未満の児童の割合が高いです。

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



そこで  
学校では... 家庭では...



### ① 基礎・基本の確実な定着

- ・漢字や計算の反復練習やチャレンジテストを活用します。

### ② 分かりやすい授業づくり

- ・1時間の課題とまとめが明確な授業実践。
- ・TTや少人数指導など複数の教師による個に応じた指導を充実します。

### ③ 学習規律・学習習慣の定着

- ・全学級統一の「学習のきまり」を設定し返事の仕方や話の聞き方を継続指導します。
- ・宿題の提示や、家庭学習の取組を推奨し、評価(児童への励まし)を充実させます。

### ① 机に向かう時間の確保

- ・目標は「10分間×学年+10分間」
- ・時間帯を決めて毎日継続(定着するまでは、保護者からの声掛けを)

### ② メディア利用のルール作り(時間を決める)

- ・テレビ、ゲームやネット利用の時間を減らし、家庭学習や読書の時間に(ストップ・ザ・見放題、家読の取組)

### ③ 心が触れ合う時間の確保

- ・将来を思い描き、学習の意義を感じながら意欲をもって学習に取り組む姿勢の育成
- ・子供の頑張りを褒め、良い所を認める

学校と家庭が連携し、学力向上を目指しましょう!